

# 平成25年第10回真室川町教育委員会会議録

平成25年12月20日(火)午前9時より、真室川町中央公民館青年の部屋において平成25年第10回真室川町教育委員会を開催した。

- 1.出席委員
- |     |        |
|-----|--------|
| 委員長 | 土田 稔   |
| 委員  | 遠田 且子  |
| 委員  | 沓澤 力   |
| 委員  | 佐藤 奈津紀 |
| 教育長 | 新田 隆治  |
- 2.事務局出席者
- |             |       |
|-------------|-------|
| 教育課長        | 八鍬 重一 |
| 総務管理・学校教育担当 |       |
| 課長補佐        | 佐藤 久和 |
| 生涯学習・スポーツ担当 |       |
| 課長補佐        | 櫻本 菊男 |

## 3.会議案件

- |      |                              |
|------|------------------------------|
| 日程第1 | 前回会議録の承認について                 |
| 日程第2 | 教育長事務報告について                  |
| 日程第3 | 報告                           |
| 日程第4 | 議案第37号<br>平成26年度教育予算案の原案について |
| 日程第5 | その他                          |
| 日程第6 | 閉会                           |

## 4.会議の経過

土田委員長 ただいまの出席は5名です。定足数に達しておりますので、これより平成25年第10回真室川町教育委員会を開催します。本日の案件は、日程第1から日程第6までとなっております。まず初めに、日程第1「前回会議録の承認について」を議題にいたします。これについて何か質問等ありますか。

教育課長 (一部訂正等について依頼)

土田委員長 その他に何かございますか。無ければ、前回会議録について承認することに異議ありませんか。

一同 異議なし。

土田委員長 異議なしということですので、前回会議録については承認されました。続きまして、日程第2「教育長事務報告について」を議題にいたします。事務局より説明願います。

佐藤補佐 (総務管理・学校教育担当の事務報告及び予定を一括で説明)

櫻本補佐 (生涯学習・スポーツ担当の事務報告及び予定を一括で説明)

土田委員長 教育長から何かございませんか。

教育長 (教職員人事に係る校長ヒアリングの予定について報告)

土田委員長  
- 同  
土田委員長  
教育課長  
土田委員長  
佐藤補佐  
櫻本補佐  
土田委員長  
沓澤委員  
佐藤補佐  
沓澤委員  
佐藤補佐  
佐藤補佐  
遠田委員  
櫻本補佐  
教育課長

教育長事務報告について、何か質問等ございませんか。  
ありません。  
無いようですので、日程第2「教育長事務報告について」は以上とします。続いて日程第3「報告」に移ります。事務局から何かございますか。  
事務局からはございません。  
無いようですので、日程第3「報告」については以上で終わります。続きまして、日程第4議案第37号「平成26年度教育予算案の原案について」を議題とします。説明をお願いします。  
(総務管理・学校教育担当の当初予算案原案を資料に基づき説明)  
(生涯学習・スポーツ担当の当初予算案原案を資料に基づき説明)  
ただ今の説明に、質問等ございますか。  
学習指導員・支援員の配置予定人数を教えてください。  
予算要求時の配置予定人数は、全校合計で指導員及び支援員5名ずつとなります。  
マメールとはどのようなものか教えてください。  
メールソフトの名称で、登録している親の携帯電話に一斉メール通知できるものです。例えば、集中豪雨や地震・不審者情報・クマ情報等をお知らせする際に使用されます。  
携帯電話を持っていない場合はどうするのでしょうか。  
学校から自宅へ固定電話で連絡を行います。携帯電話の普及率がほぼ100%に近いことと、携帯電話を持っていれば家族で何人でも登録可能なため、使用率は高くなっています。  
中学校分のクロスカントリー振興補助金が生涯学習・スポーツ担当へ移ったということでしたが、新しくどのくらいの額が加算されているのでしょうか。  
最大120万円として加算しています。  
社会教育指導員についてですが、専門的な業務内容もあるため、2年ごと試験を実施して雇用し直すよりも同じ方を継続雇用した方が良いと思います。選出は具体的にどのような方法で行われているのでしょうか。  
面接と作文試験を実施し、選考委員会を開いて雇用者を決定しています。社会教育指導員として雇用されている者も含めて試験を行い、現在は2名が継続雇用されています。  
嘱託という身分のため、同一指導員を終身雇用という前提ではない考え方で行っています。本来であれば、専門的技術を備えている方がベストなのですが、地域内部からの雇用のため、意欲が高い方の中から選考しています。嘱託は通常であれば1年雇用ですが、専門性や継続性の双方を重視し、2年ごとでの採用を行っています。

- 遠田委員 関連のある資格(図書司書や学芸員等)を持っているかどうかは選考の条件になりますか。
- 教育課長 資格を持っていることを前提にはしていません。
- 遠田委員 資料館館長と事務員の賃金で、1日にどちらか1人が居れば良いということから週6日となっていると思いますが、行事等もあるため2人一緒に仕事をしなければならない場面もあると思います。どのようにお考えですか。
- 櫻本補佐 2人が一緒に仕事をする場合についても考慮していきたいと思います。
- 遠田委員 学校教育に関して、教員の研修のための配慮がしっかりしていると感じています。研修は、教員の指導力や基礎力を上げるためには重要なため、大変ありがたく感じています。
- 佐藤委員 図書備品費は、1学級あたりの費用が決まっているのでしょうか。
- 佐藤補佐 歳出根拠として明確なものはありませんが、国から町へ交付税として入ってくる金額の基準があり、その基準に合わせて予算に計上しています。金額については、近隣の市町村と比較すると多くなっています。
- 佐藤委員 児童生徒版画作品展では、有名な方の作品を借りてきて展示するのでしょうか。また、謝金には借上料も含まれていますか。
- 櫻本補佐 はい。町内の方の作品に加えて、町外の方の作品の展示も考えています。謝金の中に作品の借上料も含まれています。
- 土田委員長 まざれや事業で来館者を増やすための予算は計上されているのでしょうか。
- 櫻本補佐 予算に計上しています。
- 土田委員 まざれやの利用者はどの程度いますか。
- 櫻本補佐 当初は3,000人が目標だったのですが、現在は5,000人に近づいています。
- 土田委員長 資料館館長に手当は出るのでしょうか。
- 教育課長 これまで月額賃金となっていたこともあり、現状では手当を確保するのは難しいかと思います。  
(資料館館長による川ノ内の新田家文書解読調査について説明)
- 沓澤委員 川ノ内の新田家文書が町の歴史に関わりがあるとするれば、公費で調査依頼するのも良いかと思うのですが、どうでしょうか。
- 教育課長 郷土史に関わりがあるかどうかについての予備調査段階となっているため、関わりがあれば、公費での調査依頼も考慮していきます。
- 佐藤委員 子育て講座や幼児教育ふれあい広場など、各学校単位でなく、町全体として有名な方を呼んで講演を開き、その講演を親子で聞くことができれば良いと思いました。
- 櫻本補佐 P T A 連協としては町全体で講演をしていただいた経過があります。

来年度もこのような機会が持てるように考慮していきます。

遠田委員  
櫻本補佐

まされや事業の応援団を組織することについてはどうお考えですか。  
11月にまされやの管理運営委員会理事会で協議を致しましたが、今後システム化に向けて取り組みをしていきます。

土田委員長  
佐藤補佐  
土田委員長  
佐藤補佐

運転管理業務の導入目的は何ですか。  
町全体の雇用確保です。  
委託の場合、費用は現在とどのように異なってくるのか教えて下さい。  
委託であれば、保険料の事業主負担や事務費等の補助も必要となるため、一人あたり人件費は現在よりも高額となりますが、正職員削減分も考慮すれば総体としては安価となります。

土田委員長  
佐藤補佐

講師謝金の基準があれば教えてください。  
県外講師は3万円、県内講師は2万円、町内の方々は2千円から5千円となっています。

遠田委員  
櫻本補佐

幼児期からどのような方法でスキーに親しませたいか教えて下さい。  
散歩スキー（歩くスキー）や雪遊びをしながら親しませたいと考えております。

遠田委員  
櫻本補佐

スキー用具費用の助成について教えて下さい。  
1人8万円の助成とし、6名分の48万円を予算へ計上しています。  
また、練習における合宿の費用はこれまで出ていなかったのですが、2分の1補助で1人当たり5万3千円を助成したいと考えています。

教育課長

基本的には保護者負担のため廃品回収等をして独自で資金確保の努力をしていますが、それでも費用が足りないため、他競技と同等程度の公費援助をしなければ先に進まないのではないかという観点からの要求となっています。

沓澤委員  
櫻本補佐

公民館のPCB処理は以前にも実施されていませんでしたか。  
以前実施予定となっていたましたが、平成26年度に実施時期が変更となりました。平成26年度内に実施及び完了となる予定です。

遠田委員

小中学校の児童生徒及びその保護者である子育て世代は学校を通して学べますし、老人クラブに該当する年齢の方々は栄寿大学で学べますが、その中間に位置する世代の学びの場はどのように確保しているのでしょうか。

教育課長

公民館（分館）での活動として自ら学び自らアクションを起こすという事業を展開しています。

遠田委員

地区の代表の方だけでなく皆に周知する必要があると思います。教育課だけでなく、他課と連携しながら町民に学びの場を提供して欲しいと思います。

櫻本補佐  
遠田委員

公民館（分館）活動として、研修会や事例発表も行っています。  
そのような場合は、どなたに連絡が入るのでしょうか。連絡後の手配

等も、連絡の入った人が担当するのでしょうか。

教育課長 公民館長に連絡が入り、手配も公民館長が担当しています。そのため、地域ごとに濃淡があり、その濃淡を無くそうと努力をしていますが、なかなか苦労しているところです。

土田委員長 男女共同参画に関して、女性3割以上を数値目標として出されましたが、もう少し詳しいアクションプランがあると良いと思います。

教育長 幅が広いので非常に難しいのですが、複数の課で声を掛け合い、今後について検討していくことが大切だと考えております。

佐藤委員 資料館館長から真室二郎さんの作品を絵本にしてほしいとの要望があったのですが、完成したら予算は得られるのでしょうか。

教育課長 見通しや目的等を整理した上で検討していきます。

遠田委員 図書館の利用者が増えるよう、町民が手に取りやすい本の配置や宣伝を行う等の工夫が必要だと思います。

教育長 町民が手に取りやすい本の配置を考慮していきます。また、公民館内だけでなく、ヘルスケアセンター2階及び情報センターにも図書スペースがあるため、これらの図書スペースについても町民の方々へ周知し、利用者増加に努めていきたいと思っております。

土田委員長 他に何かございますか。

教育長 来年度からは「主要事業調査表」も配布し、要求書作成の段階で教育委員の皆さんからご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

土田委員長 他に質問等ありませんか。無ければ、日程第4議案第37号「平成26年度教育予算案の原案について」を承認することに異議ありませんか。  
- 同 異議無し。

土田委員長 異議無しですので、日程第4議案第37号は承認されました。引き続き日程第5「その他」に移ります。事務局より何かありますか。

佐藤補佐 (生徒の状況・今後の対応について報告)

土田委員長 1月の教育だよりの担当は教育長にお願いしたいと思っております。次回に、今後の教育だよりの発行頻度及び教育委員会独自のホームページを作成するかについても話し合っていきたいと思っております。私からは以上です。他には何かございませんか。

- 同 ありません。

土田委員長 無いようですので、以上をもちまして、平成25年第10回真室川町教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

- 同 ありがとうございました。

次回は、平成26年2月20日(木)に開催することを確認して閉会。